

報告番号 7 号
令和2年3月25日

根室市議会議長 本田 俊治 様

会派名 創 新

代表者名 田塚 不二男

政務活動報告書

区 分	<input type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 研 修 ・ <input type="checkbox"/> 広 報 ・ <input type="checkbox"/> 広 聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会 議
活動テーマ・目的等	地域に医療を残すために
期 間	令和2年2月19日（水）18時30分～21時00分
参 加 者 氏 名	田塚 不二男、五十嵐 寛、滑川 義幸、本田 俊治、 足立計昌、野瀉龍彦、一般市民 50名
応 対 者	城西大学経営学部 教授 伊関 友伸
場 所	根室市総合文化会館 視聴覚室
行 程	
内 容 ・ 成 果 等	<p>都市部への人口流出、少子高齢化により地域を取り巻く社会環境は大きく変化しています。安心安全なまちづくりの要である地域医療の分野においても、地域医療計画に基づく提供・担うべき医療の見直し・再編への対応、慢性化する医師等医療従事者の不足への対応、公立病院として担わなければならない診療機能の維持・確保と経営改革への取り組み等々課題が山積している。</p> <p>本格的な少子高齢経済の活性化で人手不足が深刻化する。</p> <p>2040年以降の自治体は深刻な医療福祉人材不足に直面する。</p> <p>ほとんどの自治体は医療介護人材不足の長期推計を行っていない。</p> <p>医療介護施設がなくなれば、ケアを受けることができなくなり、高齢者が自治体外に流出する、子どもに医療を受けさせることができなくなることで子育て世代が自治体外に流出する、当面は、減少する若者の中で、医療・介護の人材をいかに集めるかが重要で将来に向けては、合計特殊出生率を上げることが大切である。</p>

根室市議会議長 本田 俊治 様

会派名 創 新

代表者名 田塚 不二男

政務活動報告書

区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研 修 ・ <input type="checkbox"/> 広 報 ・ <input type="checkbox"/> 広 聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会 議
活動テーマ・目的等	議会における ICT の活用状況について 稚内市における医師確保対策について
期 間	令和2年2月12日（水）～2月13日（木）
参加者氏名	滑川 義幸、五十嵐 寛、本田 俊治、足立 計昌
応 対 者	まちづくり政策部地方創生課戦略グループ 主査 山川奈緒 議会事務局庶務課議会グループ 書記 小野寺太一
場 所	稚内市議会事務局会議室
行 程	2月12日（水） 根室→釧路空港→千歳空港→稚内空港 稚内市役所 13:00～15:30 2月13日（木） 稚内空港→千歳空港→釧路空港→根室
内容・成果等	<p>●議会におけるICTの活用状況について</p> <p>①議会におけるタブレット端末の活用について</p> <ul style="list-style-type: none">・導入に至った経緯について・導入システムの選定経過及びペーパーレス会議システム採用について・導入費用（イニシャルコスト、ランニングコスト、費用負担区分等）について <p>②行政データのデジタル化の状況について</p> <ul style="list-style-type: none">・行政情報のデータベース化の取り組み状況について <p>●稚内市における医師確保対策について</p> <p>①民間病院の誘致・開業支援制度について</p> <ul style="list-style-type: none">・制度設計の経緯と利用状況について <p>②行政・医療機関・市民が協働で行っている地域医療対策について</p> <p>③市立稚内病院の診療体制について</p> <ul style="list-style-type: none">・医師をはじめとする医療従事者の配置（充足）状況について <p>稚内市は、医師不足は今後も続くことが予想される中、地域医療施策を総合的にすすめ、安心して暮らし続ける街を目指し医療施策を地方創生の一環としてとらえ動いているところが強みと感じた。</p>

報告番号 5 号
令和 2 年 2 月 26 日

根室市議会議長 本田 俊治 様

会派名 創 新

代表者名 田塚 不二男

政務活動報告書

区 分	<input type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 研 修 ・ <input type="checkbox"/> 広 報 ・ <input type="checkbox"/> 広 聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会 議
活動テーマ・目的等	防災と議員の役割
期 間	令和 2 年 1 月 8 日（水）～1 月 11 日（土）
参 加 者 氏 名	足立 計昌
応 対 者	首都大学東京 名誉教授 中村 一樹 跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授 鍵屋 一 熊本市議会 村上 博 防災企業連合関西そなえ隊事務局 湯井 美恵子
場 所	全国市町村国際文化研修所 滋賀県大津市唐崎二丁目 13 番 1 号
行 程	1 月 8 日（水） 根室→釧路空港→関西国際空港→京都 1 月 9 日（木） 京都→唐崎移動 講義・演習 1 月 10 日（金） 講義・演習 終日 唐崎→京都移動 1 月 11 日（土） 京都→関西国際空港→釧路空港→根室
内 容 ・ 成 果 等	講義内容 1. 地域防災力を向上させるために 2. 平時の防災と議員の役割 3. 災害弱者への対応～熊本地震における経験より～ 4. 災害時・復旧・復興期の議員の役割 ・災害時には支援者の割合が低下し、要支援者の方が多くなってきており、これからは、高齢者や独り住まいの人こそ自助を徹底して被害の軽減をすべき時代になっていることを啓蒙すべきである。 ・災害時に係る議員の役割としては、平時においては自主防災会の活動の見直しや体制強化がされているのかを行政と共に市民に啓発することが肝要であると思われる。 ・議員のスタンドプレーは行政を混乱させることが多く、個々の判断で動くことは行政の邪魔をすることになる。 ・「備えあれば憂いなし」、最低 72 時間は「自助」が可能な備えをすること。

根室市議会議長 本田 俊治 様

会派名 創 新

代表者名 田塚 不二男

政務活動報告書

区 分	<input type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研 修 ・ <input type="checkbox"/> 広 報 ・ <input type="checkbox"/> 広 聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会 議
活動テーマ・目的等	①北方領土返還要求中央アピール行動への参加 ②北方領土問題に関する諸施策の展開について要請活動
期 間	令和元年11月30日（土）～12月2日（月）
参 加 者 氏 名	田塚不二男、五十嵐寛、滑川義幸、足立計昌、野潟龍彦
応 対 者	②内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策） 総務副大臣 衆議院・参議院両沖縄及び北方問題に関する特別委員会理事 道内選出国會議員
場 所	12月1日 日比谷公園大音楽堂～銀座外堀通り～鍛冶橋交差点 12月2日 内閣府特命担当大臣室、総務副大臣室、 衆議院・参議院議員会館議員事務室
行 程	11月30日（土） 根室→釧路空港→羽田空港（東京） 12月 1日（日） 北方領土返還要求中央アピール行進 12月 2日（月） 要請活動 9：00～12：00 羽田空港（東京）→釧路空港→根室
内 容 ・ 成 果 等	①昨年は、平和条約交渉の大きな前進が期待される中、日ロ首脳会談が行われたこともあり、ハチマキ、タスキ、シュプレヒコールは檄を抑え、交渉の後押しをしたが、今年は、タスキはないもののハチマキと小旗を使用しシュプレヒコールは従来通りで領土問題の一日も早い解決を全国に発信した。 ②北方領土問題の早期解決に向けた平和条約の締結のための強力な外交交渉の推進と、返還要求運動を国民総意の運動へと展開するための施策、北方領土問題が未解決のため発展が阻害されてきた北方領土隣接地域の振興対策、北方四島隣接地域主体の交流枠の拡充についての支援と協力を要望してきた。

根室市議会議長 本田 俊治 様

会派名 創 新

代表者名 田塚 不二男

政務活動報告書

区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研 修 ・ <input type="checkbox"/> 広 報 ・ <input type="checkbox"/> 広 聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会 議
活動テーマ・目的等	千歳市既存庁舎耐震改修工事と第2庁舎建設について
期 間	令和元年11月7日（木）～11月8日（金）
参 加 者 氏 名	田塚 不二男、五十嵐 寛、足立 計昌、野潟 龍彦
応 対 者	千歳市 総務部主幹第2庁舎等建設担当 後藤 詔章 議会事務局総務課調査係係長 寺嶋 慶之
場 所	千歳市役所議会棟第2委員会室
行 程	11月7日（木） 根室→千歳市 （レンタカー移動） 11月8日（金） 千歳市役所視察 9時30分～11時30分 千歳市→根室 （レンタカー移動）
内 容 ・ 成 果 等	<p>千歳市の現本庁舎は、昭和51年の供用開始から39年を経過し、施設・設備の老朽化が著しく、庁舎建設当時、約6万人であった人口も現在は9万5千人を超え、社会情勢の変化や市民ニーズの多様化により業務が拡大し、狭あいな状況となり、その結果、市庁舎は本庁舎以外に教育委員会庁舎、西庁舎（建設部技術部門）等に分散化することになり、利便性、機能性等の点において、市民の相談や手続きが煩雑な配置となってしまった。また、教育委員会庁舎は、昭和37年の建築から53年を経過し、建物全体の老朽化が著しく、さらには、本庁舎は、多くの市民が利用する施設であるとともに、地震等の災害時において、災害対策本部を設置する施設となっているが、平成23年度の耐震診断の結果、事務棟及び市民ホール棟については、強度不足により耐震性能を満たしておらず、補強工事が必要であると判定された。この耐震補強工事を実施した場合、内部鉄骨ブレースやRC系耐震壁の設置に伴い、工事期間中は最低でも500㎡以上、工事完了後は100㎡以上の事務スペースが消失することとなる。そこで、耐震改修工事に伴う事務スペース消失への対応、教育委員会庁舎の著しい老朽化への対応、教育委員会及び建築部技術部門の集約による市民サービスの向上を目指し、第2庁舎を建築することとし、第2庁舎建築の後、本庁舎耐震改修等工事を実施している。</p>

報告番号 2 号
令和元年 9 月 27 日

根室市議会議長 本田 俊治 様

会派名 創 新

代表者名 田塚 不二男

政務活動報告書

区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研 修 ・ <input type="checkbox"/> 広 報 ・ <input type="checkbox"/> 広 聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会 議
活動テーマ・目的等	庁舎改築に向けた取り組み状況について
期 間	令和元年 8 月 27 日 (火) 10 時～11 時
参 加 者 氏 名	田塚 不二男、五十嵐 寛、滑川 義幸、 本田 俊治、足立 計昌、野潟 龍彦
応 対 者	美幌町 総務部長 小室 保男、 総務主幹 関 弘法、 庁舎建設担当主査 竹下 護、 美幌町議会 議長 大原 昇、 議会事務局長 遠國 求、
場 所	美幌町議会 第1第2議員控室
行 程	8 月 27 日 (火) 根室→美幌町→根室 (レンタカー移動)
内 容 ・ 成 果 等	<p>平成29年5月からの現庁舎の耐震診断を実施したところ、耐震基準を満たしていない結果となり、耐震改修には多額の費用(13億円程度)がかかること、工事期間中における住民サービスの低下や執務環境が悪化すること、建設後の経過年数から耐震補強工事施工後からの使用期間延長が見込めないこと、現状の庁舎における課題解決や多様化する行政需要に対して庁舎の在り方を見直す必要性もあることから、耐震補強工事を施工することなく、新庁舎の建設の実施に至った。町民と町議会が足並みを揃えて協議を進めてきた結果、異論もなく進んでいった。建設事業の財源として「役場庁舎改築基金」と、交付税措置が講じられている公共施設等適正管理推進事業債の活用など、地方債が時限措置の為、基本計画の策定を省略するなどしてスピード感を持って執り進めている。</p> <p>新庁舎は、環境省や国土交通省などが推奨する「ZEB(ゼブ)」と呼ばれる環境配慮型建築物基準を採用し快適な室内環境を保ちながら、高断熱化、日射遮蔽、自然エネルギー利用、高効率設備により出来る限り省エネルギーを実現するもので、通常建築物より50%以上消費エネルギーを削減する、道内初のZEB庁舎となる。</p>

報告番号 1 号
令和元年 6 月 26 日

根室市議会議長 本田 俊治 様

会派名 創 新

代表者名 田塚 不二男

政務活動報告書

区 分	<input type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研 修 ・ <input type="checkbox"/> 広 報 ・ <input type="checkbox"/> 広 聴 <input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会 議
活動テーマ・目的等	丸山穂高衆議院議員の言動に対する抗議・要請行動
期 間	令和元年 5 月 30 日 (木) ～ 6 月 1 日 (土)
参 加 者 氏 名	五十嵐 寛 野潟 龍彦
応 対 者	内閣府特命担当大臣 (沖縄及び北方対策) 衆議院議長、衆議院運営委員長、自民党幹事長代行 衆議院・参議院両沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員長 道内選出国會議員
場 所	内閣府特命担当大臣室、衆議院議長室 衆議院・参議院両沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員長室 衆議院・参議院議員会館議員事務室
行 程	5 月 30 日 (木) 根室→中標津空港→羽田空港 (東京) 5 月 31 日 (金) 抗議・要請活動 (終日) 6 月 1 日 (土) 羽田空港 (東京) →中標津空港→根室
内 容 ・ 成 果 等	<p>今回の丸山穂高衆議院議員の言動に対する抗議・要請行動は、報告書記載の通り、衆議院議長を始め応対者の議員からも、この問題に対し共感を得る事が出来たところであり、特に内閣府北方担当大臣からの指示として、今後国會議員がビザ無し訪問に参加する折には地元根室市議会北方領土対策特別委員会委員と意見交換の場をつくり、国會議員としての役割を果たして行くことの決意を述べられたことは、要請行動の成果の表れであると認識致します。</p> <p>また、要請行動後、速やかに衆議院において、丸山穂高衆議院議員に対し、直ちに進退を判断するよう求める決議を、院の責任の下に行うことについて、衆議院議長、議会運営委員長からそれぞれ謝罪と共にその決意が述べられた。</p> <p>この発言は大変重い発言であり、この度の要請行動は、報道等を通じてあらためて北方領土返還運動原点の地である根室市市議会の役割の重要さを感じるものとなった。</p>